

1. 学習項目

北アメリカの農業 (1h 計画)

2. 本時の目標

- ・アメリカの農業が日本を含め世界に大きな影響を与えていていることに興味をもつ。
- ・気候や土地の特性によって、栽培される農作物の種類が決まっていることに理解する。

3. 本時の展開

※ この授業の前に、アメリカについて各自調べる学習の機会を設けるとよいです。

| | 学習内容と主な発問 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|-----|--|--|--|
| 導入 | 1. 日常的に接する食べ物にアメリカ産がどのくらいあるか調べる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 身の回りにある食べ物でアメリカ産のものには、どのようなものがあるか発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・牛肉 ・オレンジジュース ・小麦粉 ・クッキー など | <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に「アメリカ産」と銘打った食物のラベル等を見つけて集め、発表用にまとめておくよう、指示する。 |
| 展開Ⅰ | 2. アメリカと他国(日本)の農産物生産量や輸出量のグラフを比較し、アメリカの農業の特徴の概要を捉える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに、アメリカで生産されている農作物や農業形態の特徴を考える。 <p>(例)</p> <p>「牛肉は世界一生産量が多い。輸出量も多い。」</p> <p>「農業を行っている土地が日本に比べてとても広い。」</p> <p>「飛行機を使って、農薬を散布したりしている。」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の正確な読み取り方を理解できるような支援を心がける。 ○ 意見が出にくいグループへ助言するなど、学習支援を行う。 ○ 映画や物語を使って、生徒に興味を持たせるのもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・風とともに去りぬ ・大草原の小さな家 ・トムソーやの冒険 ・アンクルトムの小屋 など |

展開例以外にも、生徒が「アメリカの農業」について興味をもつような働きかけを工夫してみてください。

【教科書対応表】※ この指導案は下記教科書に対応しています。ご参照ください。

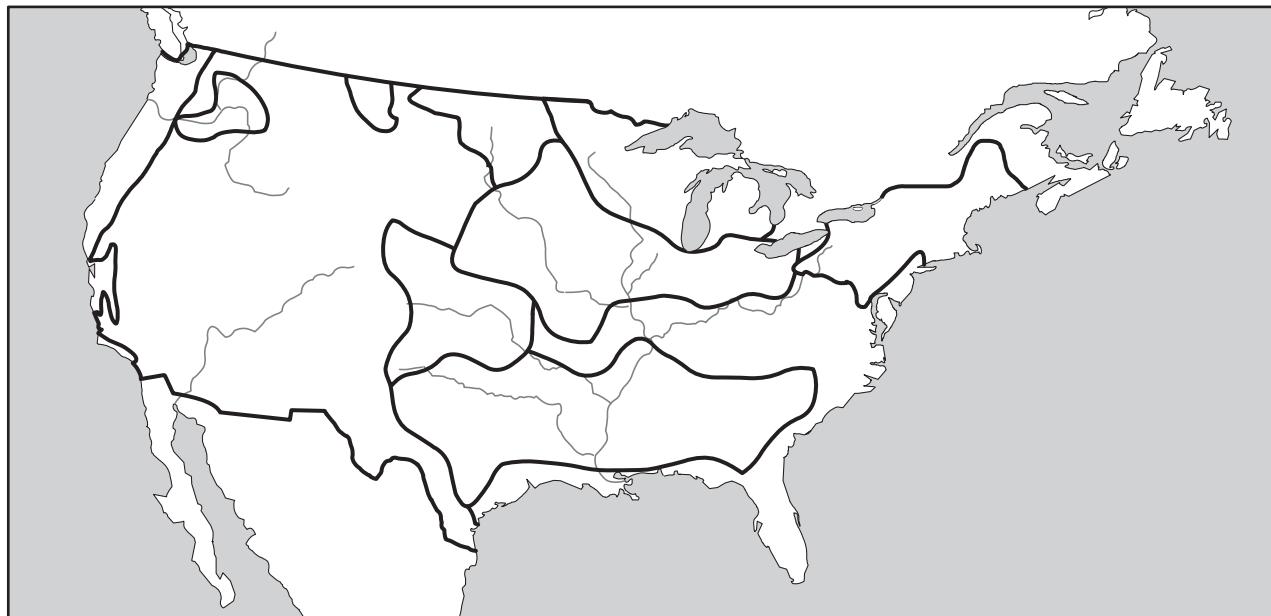
| 出版社名 | 教科書名 | 区分 / タイトル |
|--------|------------|--|
| 教育出版 | 中学社会 地理 | 第2編 第2章 4 / 北アメリカ州 ②世界の食糧庫 |
| 東京書籍 | 新しい社会 地理 | 第2編 第2章 4節 / 北アメリカ州 —巨大な農業生産力と移民— |
| 日本文教出版 | 中学社会 地理的分野 | 第2編 第2章 4 / 北アメリカ —世界中に影響をあたえる産業をテーマに— |
| 帝国書院 | 中学生の地理 | 第2部 第2章 3節 / 北アメリカ州 —大規模な農業と多様な農産物— |

memo

組 番 名前

<アメリカの農業について>

- ★ 各農業地帯を指定の色でぬり分け、□に当てはまる言葉を書きましょう。



● とうもろこし地帯 (赤)

□ 川の中流地域に広がる。

また、とうもろこしを飼料として □ や豚を飼育している。

● 小麦地帯 (青)

北部から中央部に広がる。春に種をまいて夏から秋に収穫する □ と

秋に種をまいて翌年の初夏に収穫する □ がある。

● 紡花地帯 (緑)

南部に広がる。

● 酪農地帯 (茶色)

北東部の五大湖の周辺で行われている。

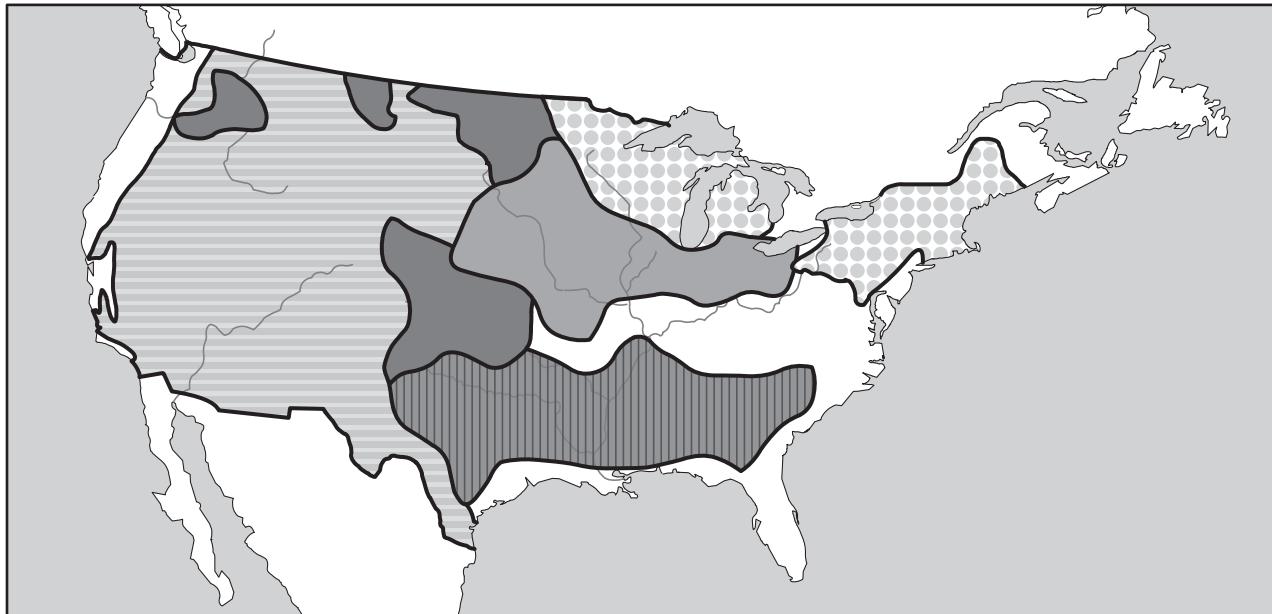
● 放牧地帯 (黄色)

西部で広く行われている。

組 番 名前

<アメリカの農業について>

★ 各農業地帯を指定の色でぬり分け、□に当てはまる言葉を書きましょう。



- とうもろこし地帯 (赤) ■■■■■

ミシシッピ

川の中流地域に広がる。

また、とうもろこしを飼料として ■■■■■ 牛 や豚を飼育している。

- 小麦地帯 (青) ■■■■■

北部から中央部に広がる。春に種をまいて夏から秋に収穫する **春小麦** と

秋に種をまいて翌年の初夏に収穫する **冬小麦** がある。

- 縫花地帯 (緑) ■■■■■

南部に広がる。

- 酪農地帯 (茶色) ■■■■■

北東部の五大湖の周辺で行われている。

- 放牧地帯 (黄色) ■■■■■

西部で広く行われている。